

学校通信 3-7		かけはし	教育目標 ・学び合う子 ・つながりの子 ・支え合う子 ・たくましい子	武蔵村山市立 第九小学校 校長 村山 博子 令和3年11月1日
-------------	---	------	--	--

雑感

校長 村山 博子

○今年もあと残すところ2ヶ月となりました。昨年からのコロナウィルスの影響で、様々な課題の中、九小としては感染防止に努めながら、子供たちにできるだけだけのチャンスを提供し、いつも通りの活動を行い、自分たちの力でより良い学校生活を創りあげていって欲しいと考えてきました。先月の運動会を始め、様々な校外活動や今月末の学習発表会等の教育活動の中で、子供たちが自ら課題を発見し、解決の方法を考え・判断する機会を与えています。

学校に来る意義の一つは、学習や各行事等にみんなで協力して全力で取り組むことで得られる達成感を味わうことだと思います。自分の得意なもので自信をつけ、不得意なものを克服し、その繰り返しや積み重ねで成長させていく、それを集団の中で実現させることが学校が担う重要な役目であると考えます。

本校に限らず、様々な理由で学校に来られない、行きたくないという子供が増えているようですが、本人にはそれなりの理由もあるので、登校を強要するつもりはありません。ただ、家庭学習だけでは学べない他者との関わり方、折り合いの付け方、自分の言動を振り返る力、ささいな事にやたらに傷つかない耐える力などを身に付けないまま、大人になっていくのはとても心配です。

学校にはよく「友だちと仲良くしよう」というめあてがありますが、「誰とでも仲良く」というのは結構難しいことだと思います。仲良くはなれないけど「自分と合わない人と、どうやってケンカしないで付き合っていくか」を小学校のうち、多少痛い思いもしながら学んでいくことでお互いに成長していって欲しいと思っています。

○昨日の選挙が終り、投票率は55%でした。結果はどうあれ、いつも気になるのは与党の得票率が約50%弱なので、日本の今の国政は国民のおよそ4分の1の意志で動いているのかと思うと時々不安になります。本校でもアンケート回収率はほぼ40~50%です。先日の運動会アンケートは58%に達しましたが、クラスによって30~80%の開きがあります。PTAの運営委員会でどうして回収率が低いのか伺ったところ、「十分満足してるので特に言うことはないから」という御意見をいただきました。

もちろん出していただいたアンケートの中には、多くの励ましの御意見や御提案等を大変細かく書いていただいている方もいて、それは次回に向けた改善案にとっても役立っています。

投票しようと思う人がいないから選挙に行かない。特に不満はないからアンケートに回答しない。当然どちらも強制ではありません。でも、今の子供たちには自分の意見を言って、みんなの学びに生かそうと教えています。意見を言わない自由もありますが、でもやはり言わなければ伝わらないと思うのです。自分の意見を表明し、違う意見と対話してより良いものにしていくという姿勢は世の中全体で共有していきたいと思っています。どうせ言っても変わらないからやらない、自分の意見に反論されるのがイヤだから黙っている、違う意見を認めず自分の主張を押し通す、といった風潮はこれからの未来を生きる子供たちにふさわしくないと。そのためにも教職員一同、保護者、地域の方々と連携して様々な工夫をしていきたいと思っています。今後とも御理解、御協力をよろしくお願いいたします。



